

反貧困ネット北海道

連続
学習会

2011年度

その
四

講師 吉永 純さん (花園大学教授)

「貧困率史上最悪の16%」、「生活保護利用者200万人突破」など、貧困と生活保護をめぐって記録更新が続いています。こうした中で、5月から、生活保護改革を目指した「国と地方の協議」が始まり、現時点(9月22日)でなお、協議を続行中です。地方側は「期間を設定した集中的かつ強力な就労支援」(事実上の生活保護の有期化)や「医療扶助の一部自己負担化」を求めています。しかし、このような保護利用者の生活保護からの締め出しは、最後のセーフティネットである生活保護や生存権を形骸化させるものです。貧困が拡大するもとの、生活保護の役割やどのような支援が求められているかを御一緒に考えていきたいと思います。

何を狙う「国と地方の協議」

拡大する貧困と
生活保護の役割

11/4 金

18:15~20:30

事前申込不要

札幌市民ホール会議室1、2

(中央区北1条西1丁目)

●資料代 500円 (反貧困ネット北海道会員 300円)

手話通訳をご希望の方は10月27日(木)までに事務局までお申込ください。

●問合せ先 反貧困ネット北海道 Tel.011-533-3778

Mail : hanhinkondo@yahoo.co.jp

HP : <http://www015.upp.so-net.ne.jp/hanhinkondo/>

独立行政法人福祉医療機構社会福祉振興助成事業

 反-貧困
ANTI-POVERTY CAMPAIGN